

17 第2次中期財政計画の進捗状況

第五次総合計画の実現に必要な財源を確保しつつ、中長期的に健全で持続可能な財政運営を図るため、中期財政計画（計画期間：平成20年度～平成24年度）の終了にあわせ、平成24年度に第2次中期財政計画（計画期間：平成25年度～平成29年度）を策定しました。

平成25年度の実績は次のとおりです。

1 平成25年度の収支状況

(単位：億円)

計 画 値	収 入	927.0
	支 出	941.7
	差 引	△ 14.7
実 績 値	収 入	950.3
	支 出	918.6
	差 引	31.7

収入は、前年度からの繰越金が多かった（計画値＋6.4億円）ほか、株式市場の活性化に伴う株式等譲渡所得割交付金の増加（同＋4.4億円）、財政調整基金の活用（同＋10.7億円）などにより、計画より多くなりました。

市債の発行は、借入の対象事業である普通建設事業費が見込より少なかったことや、国の経済対策で交付された地域の元気臨時交付金が市債に代わる財源となったことなどにより、計画より23.2億円少なくなりました。

支出は、普通建設事業において見込より安価に発注できたこと、及び各種医療費助成の伸びが見込より少なかったことなどにより、計画より少なくなりました。

2 目標達成への進捗状況

① 一般会計の実質収支の黒字を堅持する。

【実質収支】

(単位：億円)

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
計 画 値	△ 14.7	△ 12.7	△ 4.3	△ 4.4	△ 0.3
実 績 値	30.7				

※実質収支とは、「収入－支出」から「翌年度に繰り越すべき財源」を控除したものです

② 平成29年度末の全会計の市債残高を平成24年度末残高より100億円以上削減する。

【市債残高】

(単位：億円)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	削減額
計 画 値	1,502	1,501	1,475	1,462	1,441	1,414	88
実 績 値	1,499	1,473					26

③ 平成29年度決算に基づく財政健全化判断比率を改善する。

【財政健全化判断比率】

(単位：%)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値
将 来 負 担 比 率	82.0	78.4					70.0
実 質 公 債 費 比 率	8.2	8.0					6.0